賢くなります学びのエリア（成増ヶ丘小学校・成増小学校・赤塚第二中学校）

板橋区立赤塚第二中学校　学校だより　＜第９号＞

教育目標「立志・鍛錬・協調」

芙　蓉

令和６年１月１２日
校長　木村　知広
〒175-0094
板橋区成増 3-18-1
TEL （3939）0247

自分を信じる

校長　木村　知広

新年を迎えましたが、令和６年能登半島地震により、多くの被害が発生しました。被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、このような激動の新年を迎えましたが、令和６年の教育活動を無事スタートさせることができました。３学期は一年間のまとめとして、また次年度に向けての準備を進める大切な学期となります。ぜひ、自分の可能性を信じるとともに、理想とする自分の姿の実現に向けて、前向きな気持ちをもち、できることから精一杯努力していってください。皆さんの頑張りを期待しています。

保護者・地域の皆様、本年も生徒一人一人の可能性を広げるための教育活動を教職員一同全力で展開して参りますので、より一層のご理解と支援のほどよろしくお願いいたします。

さて、新しい年を迎え、目標もしっかりと見定めたことと思います。そこで、一人一人が目標実現を達成するために、大切にしていかなければならないことを考えてみたいと思います。

「人間は磨けば光るダイヤモンドの原石のようなもの」

上記は経営の神様と言われた松下幸之助の言葉で、さらに続きがあります。「ただの石をいくら磨いてもダイヤモンドにはならない。しかし、ダイヤモンドの原石は磨くことによって光を放つ。しかもそれは、磨き方いかん、カットの仕方いかんでさまざまに異なる燦然（さんぜん）※1とした輝きを放つのである。私は、人間というものはそれぞれに磨けば光る、さまざまな素晴らしい素質をもったダイヤモンドの原石のごときものだと思う。」

私も全く同じように考えており、誰もがダイヤモンドの原石であることは間違いありません。しかし、私たちはその輝きを抱きながらも、自分自身のスキル（力）や心を磨いていく中で、思ったような成果が出ないと、自分を信じることができず、ネガティブなことばかりを考えてしまいがちです。

でも考えてみてください。一流と言われるプロ野球選手でも打率は約３割で、１０打席中７回は失敗します。さらに、世界一と名高い全米プロバスケットボールのトップ選手でもスリーポイントシュートの成功率は 47％で、半分以上は失敗します。確かに７割、５割と失敗したことばかりに注目してしまうと、自分自身を責めてしまい、ネガティブな心情になると思います。しかし、その結果のみに注目するのではなく、それまで練習を頑張ってきた自分に注目すると、自分自身を信じることができることから、失敗を乗り越え、前向きに挑戦していこうという意欲が出てくるのではないでしょうか。

私たちは生きていく中で様々な困難に出合い、思い描いた成果がでないこともありますが、その困難等はダイヤモンドの原石を光輝かせるための過程であることを忘れてはいけません。“磨き方いかん、カットの仕方いかんでさまざまに異なる燦然（さんぜん）とした輝きを放つ”のですから。

ダイヤモンドの原石である皆さんが、今以上に光り輝くため、そして、困難を乗り越え目標を実現していくために、自分が頑張ってきたことを信じてください。人と比べることなく、自分の可能性を信じてください。そして、「雨垂れ石を穿つ」※2という言葉を励みに、目標実現に向けて頑張っていきましょう。今後の皆さんの頑張りを期待しています。

※1 きらきらと光り輝くさま。 ※2小さなことを根気よく続ければ、やがて大きなことを成し遂げられるということ。

生徒の活躍

板橋区立中学校演劇発表会　　優秀賞　劇「Ｃｈａｎｇｅ！」

板橋区中学校バレーボール一年生交流会　第三位

令和５年度が始まるにあたり、全校生徒の皆さんに大切にしてほしいこと（学校だより第１号より）

①理想の自分の姿をしっかり見据えた上で、その実現に向けて自ら学び・考え・判断し・行動すること
②理想とする自分の姿に近づけたかどうかを常に振り返り、自分の弱さを克服しながら、ねばり強く挑戦しつづけること
③一人一人の個性などの違いを認める心と温かい思いやりの心をもって人と接すること
④自分を支えてくれるすべての人々に感謝の心をもって、日々生活すること

学校行事

本校ホームページの赤二中日記では、学校行事等の様子を公開しています。下の QR コードもしくは URL（ https://www.ita.ed.jp/swas/index.php?id=1320142&frame=weblog)からご確認ください。

ビッグティーチャー事業

終業式

ランチタイムズ

赤二中日記

災害に備える

地震が発生したら

◇地震発生直後は、わが身の安全確保を最優先します。
◇激しい揺れは１～２分続きます。あわてて外に飛び出したりしてはいけません。落ち着いた行動をとりましょう。
◇海岸にいるときに大きな揺れや長い時間ゆっくりした揺れを感じたときは、津波の恐れがありますので直ちに高台に避難しましょう。
◇火災は被害を大きくします。火を使っている場合は極力火を消しましょう。但し、危険が伴いますので無理はしないようにしましょう。
◇戸を開けて出口を確保しましょう。

地震の揺れが収まったら

◇火の元を確認しましょう。
◇津波の浸水が予想される地域や山・がけ崩れの危険がある地域に住んでいる人は、すぐに安全な場所に避難しましょう。
◇テレビやラジオで気象台等が発表する津波予報や地震・津波に関する情報を入手しましょう。
◇車での避難は、渋滞に見舞われ防災活動や避難の妨げになる恐れがありますので、持ち物は最小限にして徒歩で避難しましょう。
◇大地震の後には余震がしばらく続く場合がありますので余震に注意しましょう。
◇災害時には、未確認の情報がデマとなり混乱を招く場合がありますので、正しい情報を入手して行動するようにしましょう。
◇地震は、突然襲ってきます。常日頃から避難方法・場所や医療機関などを確認しておきましょう。また、携帯ラジオ、懐中電灯などの防災用品を普段から点検しておきましょう。

日ごろからの心得

◇いざというときに備えて、非常時に必要なものをそろえておくようにしましょう。
◇揺れによって大きな家具などが人の上に倒れてくると大変危険です。地震がおきても倒れてこないように固定しましょう。
◇避難する際は、地域ごとの決まりに従って避難するようにしてください。
◇学校などの避難要領を家族で確認するようにしましょう。
◇避難所の場所を確認し、自宅から避難所までの安全な経路を把握できるようにしましょう。

気象庁（福岡管区気象台）HP より https://www.jma-net.go.jp/fukuoka/jikazan/jikazan_sonae.html

令和６年能登半島地震のニュースを見て、災害に備える大切さを改めて実感できたと思います。「もし○○にいるとき、大きな地震がきたら…」など自分事として考えることが、災害に備える第一歩です。また、災害用伝言ダイヤルの利用を含め連絡方法や避難場所等について、ご家族で話し合っておくことが大切です。